

授業科目名	アジア教育史演習
科目番号	CB22142
単位数	1.0 単位
標準履修年次	3 年次
時間割	夏季休業中 集中
担当教員	國分 麻里
授業概要	韓国において朝鮮教育史に関する2泊3日の巡検を行なう。近世の科学制度に関する建物や、近代教育史の史資料や当時の状況などを自分の目で確かめ、考えることが目的である。
備考	詳細については担当教員に確認すること。 実務経験教員 対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	批判的・創造的思考力。広い視野と国際性。教育学における総合的思考力。教育学的実践力。
授業の到達目標（学修成果）	コロナ禍のために2021年度はオンラインで韓国の大学生と共通の課題についての討論セミナーを2回行った。韓国での巡検や交流が最も望ましいが、2022年度もオンラインでの交流を考えている。こうした情報についてはアジア教育史の授業および事務からの告知などで伝える。
授業計画	<p>オンラインセミナーの場合は、韓国の大学生と2回にわたり話し合いながら、教育や歴史、環境などの現代的課題を一緒に考えていくことになる。 コロナ禍の前(2019年度)までは、2泊3日の韓国巡検を通じて、朝鮮半島の教育と近現代の教育状況および文化を直接自分の目で見て学ぶことを目的とした。そのことにより、日本教育史と関係の深い朝鮮半島の教育・教育史についての理解を深める。アジア教育史を既習、あるいは2022年度に受講している学生を対象。</p> <p>第1回 ガイダンス(以下、オンラインの場合の内容説明)</p> <p>第2回 交流の方法や内容の説明</p> <p>第3回 交流テーマの選択、内容の学習、調査</p> <p>第4回 学習内容の整理、pptの作成</p> <p>第5回 韓国大学生との交流 pptの説明</p> <p>第6回 韓国大学生との交流 質疑応答</p> <p>第7回 交流の振り返りと次回交流に向けての準備</p> <p>第8回 韓国大学生との交流 議論</p> <p>第9回 韓国大学生との交流 整理</p> <p>第10回 振り返り、評価</p>
履修条件	
成績評価方法	事前(50%)、当日(40%)、事後レポート(10%)で評価を行う。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	日頃より、朝鮮半島の歴史や文化、ハングル、人々の生活の様子についての新聞や論文を読むこと。また、日本にいるコリアンの方々に積極的に話しかけること。
教材・参考文献・配付資料等	<p>事前学習を行なう。歴史、文化、ハングル、教育について自ら調べてほしい。挨拶程度はハングルで言えるように。</p> <p>1. 日韓でいっしょに読みたい韓国史：未来に開かれた共通の歴史認識に向けて</p>
オフィスアワー等（連絡先含む）	kokubu at human.tsukuba.ac.jp

<p>その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）</p>	<p>(オンラインセミナーの場合)長期休み(今のところ夏休み)に2回のセミナーを実施する予定。日頃から韓国や朝鮮半島について関心をもつこと。</p> <p>(2019年度まで)韓国巡検の場合、例年同様5名～7人前後で実施する。受講希望をする人は、早めにパスポートを取得すること。費用を安く抑えるために、基本的に飛行機はLCC、宿泊はユースホステルやビジネスホテルに宿泊する。例年、費用は飛行機代や宿泊代で3万円~4万円程度である。希望者が定員を超える場合は、上級生を優先する。</p>
<p>他の授業科目との関連</p>	
<p>ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）</p>	
<p>キーワード</p>	<p>○オンラインセミナーの場合：大学生交流、文化、教育、歴史、政治、環境 ○巡検の場合：教育、歴史、儒教、成均館、植民地期</p>